

令和8年度 高萩市総合教育会議議事録

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 教育長挨拶
- 4 議題

(1) 「高萩市教育大綱の改定について」

(ア) 目的

- 第6次高萩市総合計画後期基本計画の策定に伴い、教育大綱を後期基本計画と整合を図った内容に改定する。

(イ) 計画期間：令和8年度から令和12年度（5年間）

(ウ) 主な内容

- I 教育大綱の位置づけ、III 基本構想、IV 基本理念
変更なし

- V 基本政策 VI 基本施策

- ①学校教育、②生涯学習、③スポーツ振興、④市民文化の4つの政策は変更なし。

各政策の方針・政策の内容については、第6次高萩市総合計画後期基本計画との整合性を図り、内容を見直し。

(エ) 質疑応答

Q：「萩っ子」とは義務教育の児童生徒を指すのか。

A：総合計画では未就学児も含んでいるが、厳密な年齢定義は定めていない。再度調整し共有する。

Q：改定部分は説明の通り、基本施策の見直しのみという認識でよいか。

A：その通り。V基本政策は変更せず、VI基本施策を後期基本計画と整合させた。

(2) 「高萩市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について」

(ア) 目的

- 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の改正に基づく働き方改革の推進。

(イ) 計画期間：令和8年度から令和11年度（4カ年）

(ウ) 目標

- 時間外在校等時間：月45時間以下の割合を100%にする。年間を通じた月平均を30時間以下にする。

- ワークライフバランス：年次休暇取得日数13日以上など。

(エ) 内容：文部科学省の指針に基づく「業務の3分類」の推進。

(オ) 質疑応答

Q：「学校以外が担うべき業務」でも、通学路の見守りは先生が行っているのか。

A：現状は教員が担っている場面も多いが、文科省の指針に基づき、役割分担の適正化を目指す。現場では理想と実態の乖離に苦慮している面がある。

Q：部活動の時間短縮による影響は。

A：練習時間短縮により体力低下は否めないが、一方で部活動を楽しみやすくなった側面もある。少年団等の活動量とのバランスが今後の課題。

Q：ストレスチェックの運用状況は。

A：インターネット回答により分析。市職員も同様に行っており、学校ごとの傾向把握も可能。高ストレス者の割合を校長は注視している。

Q：各校に設置済みの通話録音装置を増設すべきではないか。

A：現在各校1台で子機対応もしていない。学校現場からの増設要望に基づき、教育総務課で検討する。

5. その他

- ・体操服購入について：現在は取扱店があるが、各校でジャージ見直しの時期を迎えている。PTA等を交え検討を進めるよう各校長に指示済み。
- ・体操服の件については、随時情報共有を行う。

出席した者の職氏名

大部市長

長谷川教育長

小林教育長職務代理者

増子教育委員

佐川教育委員

鷲教育委員

大月企画総務部長

小森教育部長

酒出企画財政課長

渡邊教育総務課長

齋藤学校教育課長

瀬戸生涯学習課長

山縣教育総務課課長補佐

大月教育総務課係長

上遠野学校教育課課長補佐

阿部企画財政課係長

田丸企画財政課主事